

## 平成29年度 藍野高等学校 学校評価

### 1 めざす学校像

高等学校卒業生として必要な基礎・基本的な科学知識および一般教養を身に付けさせるとともに、准看護師養成校としての立場から、看護に関する基礎基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解した心優しい職業人としての資質育成を行う。

### 2 中期的目標

#### 1 基礎・基本的な学力の定着

- (1) 指導要領による教育課程の検証
- (2) 基礎力診断テスト（ベネッセ主催）の実施と考察
- (3) 個人面談の複数回実施
- (4) 長期休暇中の補習と放課後の希望者による補講
- (5) 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施
- (6) 校外で実施される教員研修への参加奨励

#### 2 准看護師資格試験合格者 100%連続達成

- (1) 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施
- (2) 模擬テスト結果を参照した習熟度別グループ分けによる効果的な補習
- (3) 看護に関するレポート・小論文の作成指導の徹底
- (4) 関係医療機関との密な連携
- (5) 看護師を強く志望する意欲を持ち、学力に優れた生徒の確保

#### 3 学習環境の整備

- (1) 校舎・校地の清掃徹底
- (2) 教室・設備の充実

#### 4 学校運営の充実と検証

- (1) 生活指導体制の強化と充実
- (2) 学校生活の充実を目的とした諸調査実施と検証
- (3) 教職員の質の向上

29年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.1

中期的目標	新指導要領に伴い基礎・基本的な学力の定着	
本年度目標	基礎・基本的学力の定着を図る	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新指導要領に即しているかを点検</li> <li>・教科研修会に多く参加できたか</li> </ul>	<p><b>基礎・基本的学力の定着を図る</b></p> <p><b>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新指導要領に即しているかを点検</li> </ul> <p>シラバスについては、ほぼ全科目について、学習指導要領の内容を踏まえたものを期限内に作成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科研修会に多く参加できたか</li> </ul> <p>「生活指導」や「進路指導」などの研修会には参加できているが、教科関連の研修会には積極的に参加できていない状況がある。</p>
<p>イ. 基礎力診断テスト（ベネッセ主催）を活用して生徒の学力を把握し、生徒全体の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談の複数回実施</li> <li>・補習・補講の実施</li> </ul> <p>・定期考査後の補習を充実させる</p> <p>・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストを活かした学習改善・面談の複数回実施</li> <li>・定期考査後の補習を充実させる</li> <li>・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える</li> </ul>	<p><b>イ. 基礎力診断テスト（ベネッセ主催）を活用して生徒の学力を把握し、生徒全体の学力向上を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談の複数回実施</li> <li>・補習・補講の実施</li> <li>・基礎力診断テストを活かした学習改善・面談の複数回実施</li> </ul> <p>英・数・国について基礎力診断テスト（ベネッセ主催）を学年毎に各学期始めに実施しているが、学年や教科により取り組み状況はまちまちであり、その結果を活用して組織的に学習改善を行えるまでに至っていない。</p> <p>新学期開始から生徒の個別面談を実施し、生徒の状況把握に努めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査後の補習を充実させる</li> </ul> <p>1・2学期それぞれの期末考査での成績不振者(39点以下)全員に対して、長期休暇中（学期終了直後）に各教科5日間の補習を実施した。結果的に、参加生徒の学力向上への意欲を喚起できたと思われる。成績不振者を極力出すことがないよう、成績不振者への早期からの働きかけを計画的に行いたい。将来的には、成績不振者だけでなく成績上位層に対しても課外学習を行っていくようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える</li> </ul> <p>長期休暇中の課題については、教科担当教員の裁量にまかされているため、課題内容や分量が適切であるかどうか判断が難しい。課題の効果について共通理解したうえで教員の意識を向上させ、学校全体の取り組みとして組織的に実施できるようにしたい。新入生に対しては、前年同様、中学の履修内容についての理解度を確認する目的で、入学説明会実施時に5教科（英数国理社）問題集を入学前の課題として与え、後日提出させた。</p>
<p>ウ. 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力底上げのための教材準備</li> <li>・学習意欲の強い生徒への補助教材の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証</li> <li>・学力底上げのための教材準備</li> <li>・学習意欲の強い生徒への補助教材の準備</li> </ul>	<p><b>ウ. 英・数・国などの主要教科において、学力向上を意識した効果的なグループ編成を行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証</li> </ul> <p>基礎力診断テスト（英・数・国）の結果は、各教科・各学年において分析し、授業やクラス運営に活かすことができるよう努力しているが、教科や学年によって取り組み状況に差が出てしまっている。成績上位者の公表等も含めた新たな活用方法を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力底上げのための教材準備</li> </ul> <p>学力底上げのために中学校での問題も活用して教材準備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の強い生徒への補助教材の準備</li> </ul> <p>学習意欲の弱い生徒に対する学力の底上げを意識した支援教材作成の取り組みはなされているが、学習意欲の強い生徒に対する教材の作成にまで手がまわっていない。</p>

<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p>	<p>・教員主導型でなく、できるだけ、生徒に主体的に参加をさせる</p>	<p><b>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</b>  <b>・教員主導型でなく、できるだけ、生徒に主体的に参加をさせる</b>  毎日朝礼後に実施している「朝学習」については、生徒が主体的に参加できるような工夫をこらして各学年実施できている。学習到達度に応じて、生徒自身に問題作成や解答解説を行わせることにより、生徒の参加意識を高めることができた。ただ、意欲の低い生徒への指導方法などの課題も多い。</p>
<p>オ. 看護教科学習の研究を行う</p>	<p>・看護教員の連携を深める</p>	<p><b>オ. 看護教育研究委員会を立ち上げる</b>  <b>・看護教員の連携を深める</b>  必要に応じ、看護教員内で授業や実習内容に関するミーティングを行った。ただ、定期的に行える状況にはいたっていないため、看護教員の中で十分な意見交換がなされているとはいえない。</p>

## 29年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.2

<p><b>中期的目標</b></p>	<p>准看護師資格試験合格者 100%連続達成</p>	
<p><b>本年度目標</b></p>	<p>准看護師資格試験合格者 100%達成</p>	
<p><b>具体的な取組計画・内容</b></p>	<p><b>評価指標</b></p>	<p><b>自己評価・今後の改善方策</b></p>
<p>ア 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通しての計画的な受験対策を行う</p>	<p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>2年 自己学習力の強化を狙い、解答の復習を徹底し、専門科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>3年 集中的な弱点克服学習を行い、資格試験合格 100%を目指す</p>	<p><b>准看護師資格試験合格者 100%達成</b>  <b>ア. 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通しての計画的な受験対策を行う</b>  <b>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</b>  1, 2年生を対象とした低学年用の准看模試を年1回(2月)実施した。模試実施後は各設問についての解説を行い、復習をさせることで知識の定着を図った。</p> <p><b>2年 自己学習力の強化を狙い、解答の復習を徹底し、専門科目の正解率 60%以上を目指す</b>  朝学習の積み重ねが准看模試の結果につながるよう、取り組みを行った。単に看護の教科だけでなく、看護以外の教科を含めたすべての教科において、看護に関連する分野への関心を持たせることで、自己学習の助けとさせた。また、准看模試実施後に徹底した復習を行うとともに、自己学習を進めやすい基礎看護全範囲の試験・復習を徹底して行った。</p> <p><b>3年 集中的な弱点克服学習を行い、資格試験合格 100%を目指す</b>  平成29年度は日本模試センターの模試を3回、過去問を含む教員作成の模試を10回、計13回の准看模試を実施し、弱点把握と苦手分野の強化のために活用した。また、1月以降は模試結果によるグループ分けを行い、学習到達度に応じた対策講義を本番直前まで行った。到達度の非常に低い生徒に対しては放課後に個別指導による対策講義を実施した。結果的に、1名の不合格者が出てしまったため、合格率100%を達成することができなかった。なお、模試結果については、解答用紙をマークシート形式にして即時処理することで生徒に速やかに提供することができた。</p>
<p>イ 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習</p>	<p>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位群が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</p> <p>・准看護師資格試験において、80%以上得点できる生徒が1/3を超えられるか</p>	<p><b>イ. 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習</b>  <b>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位群が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</b>  模試結果によって習熟度別にグループ分けを行い、グループ別に対策授業や放課後の補習を行った。特に、到達度の低い生徒に対する放課後の補習については、グループ分けにより効果的な内容の補習とすることができた。</p> <p>准看護師資格試験(関西広域連合主催)の各人の自己採点結果(得点)を例年のような形で残すことができず、生徒各人の本番での得点が不明である。自己採点実施から自己採点結果の集計まで、どの分掌(または学年)が責任をもって行うかについては、毎年、事前に確認しておく必要がある。</p>

<p>ウ 看護実習の時間確保のための関係医療機関との密な連携</p>	<p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p>	<p><b>ウ 看護実習の時間確保のための関係医療機関との密な連携</b></p> <p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p> <p>実習担当教員が実習前や実習期間中に関係医療機関と連携を密にとることで、生徒にとって実りある実習とすることができた。</p>
<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p>	<p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか</p>	<p><b>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</b></p> <p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか</p> <p>自分の考えをまとめて文章で表現する力が不足している生徒が年々増加傾向にある状況を踏まえ、「表現力養成講座」を各学年の授業に取り入れて3年目になるが、時間的な面などまだまだ課題も多い。ただ、生徒が自分の考えをまとめて文章にする機会を与えるという点では寄与できていると思われる。短期大学部以外に進学した生徒にとっては、推薦入試受験の際の小論文などの入試科目への対策としての効果はあったと考えられる。</p>
<p>オ 看護師という職業に就きたいという気持ちが強く、学力の高い生徒の確保</p>	<p>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</p>	<p><b>オ 看護師を強く志望する意欲を持ち、学力に優れた生徒の確保</b></p> <p>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</p> <p>オープンスクール等の募集関連の行事において、「准看護師資格取得」が可能な高校である事を、これまで以上に前面に出してPRした。結果的には、過去最高の受験者172名を集めることができ、平成30年度入学者は127名となった。また、入学後に実施する基礎力診断テストなどの結果から平成30年度入学者については比較的学力の高い生徒を集めることができたと考えられる。実習以外の学校生活の場においても、看護師を志す生徒として必要な研修や行事などの機会を設けることができないか検討を要する。</p>

29年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.3

中期的目標	学習環境の整備	
本年度目標	安全で快適な学習環境の整備を行う	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p>	<p>・1年生を中心に全教職員で清掃区域を担当し、指導を徹底できたか</p>	<p><b>安全で快適な学習環境の整備を行う</b>  <b>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</b>  <b>・1年生を中心に全教職員で清掃区域を担当し、指導を徹底できたか</b>                      全教員指導のもと、1年生を中心に放課後の一斉清掃を行うことができた。ただ、清掃区域については、次年度は体育館も清掃区域に加えるなど、見直しも含めて検討する余地がある。</p>
<p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p>	<p>・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか</p>	<p><b>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</b>  <b>・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか</b>                      現金などの盗難防止のため、個人用ロッカーの施錠を生徒に徹底させた。前年と比較して盗難件数は減少したが、教室に置いた鞆や施錠していない個人用ロッカーからの現金盗難は発生した。生徒移動時の教員による教室の施錠などの管理体制についても十分とは言えないので、教職員の意識付けとともに生徒への防犯指導を強化していきたい。</p>
<p>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</p>	<p>・教室・設備の不備を素早く見出し、関係部署に連絡を確実にできたか</p> <p>・生徒に施設・設備保全のための指導を行えたか</p>	<p><b>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</b>  <b>・教室・設備の不備を素早く見出し、関係部署に連絡を確実にできたか</b>                      校舎内の巡回などをこまめに行うことにより、設備の不備箇所の早期発見に努めた。予算等の関係もあるが、不備箇所確認後、修理までに時間をかなり要する現状は改善の余地がある。また、大掛かりな改修が必要なものについては、中期改修計画にそって順次行っていきたい。</p> <p><b>・生徒に施設・設備保全のための指導を行えたか</b>                      環境保全のための生徒への指導については現状では十分に行えていない。女子比率が高いこともあって器物破損件数は少ないが、生徒の関与が判明した個々の破損については、その都度、保護者も交えて指導を行った。</p>
<p>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</p>	<p>・教室・設備の具体的な整備計画を検討する</p> <p>・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む</p>	<p><b>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</b>  <b>・教室・設備の具体的な整備計画を検討する</b>                      以前からの懸案事項である「女子トイレ増設」については予算等の関係もあって具体的な計画案作成まではいたっていない。</p> <p><b>・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む</b>                      校舎内の教室数に全く余裕のない状況であるため、誠和寮や女子寮の有効活用も考えていく必要がある。緊急を要する設備の改善を図りたい。</p>

29年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.4

中期的目標	学校運営の充実と検証	
本年度目標	生活指導の充実と学校生活充実のための調査・検証	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 挨拶の習慣化をはかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習だけでなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか</li> </ul>	<p><b>基本的な生活習慣とマナーの確立と自主性・主体性の伸長</b></p> <p><b>ア 挨拶の習慣化をはかる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習だけでなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか</li> </ul> <p>普段の学校生活において、自分から積極的に挨拶ができる生徒の割合はまだまだ少ない状況である。また、高学年になるほど挨拶ができていない状況が見受けられる。生活委員会が中心となって校舎玄関での挨拶運動を実施したが、今後も継続していきたい。</p>
イ 遅刻・早退・欠席をなくすための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス遅延も見越しての早朝登校ができているか</li> <li>・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか</li> <li>・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか</li> </ul>	<p><b>イ 遅刻・早退・欠席をなくすための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス遅延も見越しての早朝登校ができているか</li> </ul> <p>雨天時のバスの遅延による遅刻者は前年に比較して減少傾向にある。遅刻数が極端に多い特定の生徒への指導をどのようにしていくかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか</li> </ul> <p>教員の5分前行動については、以前より改善されてきてはいるものの、まだまだ十分といえる状況ではなく、今後の努力が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか</li> </ul> <p>余裕を持った登校を呼びかけたこともあって遅刻者数は前年度より大幅に減少した。</p>
ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか</li> </ul>	<p><b>ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか</li> </ul> <p>生活指導部が中心になって日々の生徒の生活指導に取り組んでいるが、学年団や教員によって指導の内容に差が出てしまい、それが生徒の不満に結びつくという現状がある。全教職員が足並みをそろえて指導ができる体制作りが必要である。</p>
エ 学校生活充実を目的とした調査の実施・検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る</li> </ul>	<p><b>エ 学校生活充実を目的とした調査の実施・検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る</li> </ul> <p>生徒には定期的（年数回）に「学校生活アンケート」を実施し、いじめ問題等も含めた状況把握に努めているが、保護者や教職員を対象にしたアンケートについては年1回（6月頃）実施するにとどまっている。アンケート結果からさまざまな課題が見えてきているものの、それに十分対応できていないのが現状である。</p>
オ 教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る。</li> <li>・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める</li> </ul>	<p><b>オ 教職員研修の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る</li> </ul> <p>予算がゆるぎ範囲内で校外研修会に積極的に参加するよう心掛けているが、まだまだ十分な参加状況であるとはいえない。教職員のさらなるスキルアップが不可欠である。校内での教職員研修については、「分掌」や「教科」に関係するものを含め、組織的に実施できているとはいえない。特に、新入職員を対象とする研修については、ほとんど実施できていない状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める</li> </ul> <p>看護教育の推進を目的として校内で立ち上げた「看護教育研究委員会」については十分に機能しているとはいえないため、組織的・計画的な運営ができるよう努めていきたい。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [平成30年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望	
<p><b>保護者アンケート全般について</b></p> <p>平成26年度以降、毎年6月に、保護者に対して同一設問で学校評価アンケートを実施し、結果を分析した。新学期が始まって間もない時期のため、前年度の状況も含めて評価してもらうよう依頼した。</p> <p>全体回収率は、26年度71.3% 27年度78.0% 28年度80.1% 29年度82.7% 30年度80.3%と、年々高まる傾向にある。</p> <p>回収率を学年ごとに分析すれば、1年生は新鮮味もあるのか比較的高く、学年が上がるにつれ低くなる傾向が見受けられる。なお、回収は主に担任が中心となって行うため、担任の取り組み方にも大いに左右されると考えられる。</p> <p>1年保護者 75.9%→84.0%→91.1%→95.5%→78.0%                      2年保護者 68.6%→70.0%→77.6%→82.5%→98.8%                      3年保護者 69.3%→77.6%→70.5%→71.1%→66.3%</p> <p><b>「分析」</b></p> <p>「危機管理や安全対策」、「施設・設備面」の項目については、他と比較して否定的な回答が多かった。特に2・3年生の保護者については、施設・設備面での改善が捗らない状況に不満を持っていることがうかがえた。また、学校行事や生徒会行事について、前年度より割合は減少したものの、生徒が満足していないと回答した保護者も多かったため、今後は何らかの対応が必要になると考えられる。</p> <p><b>I 特色や方針の明確化について</b></p> <p><b>Q1 藍野高等学校からの各種案内文書・ホームページ・保護者会等の機会において、学校の特色や方針を明確に示すことができていると思いますか?</b></p> <table border="1" data-bbox="119 1456 821 1545"> <tr> <td>                             数値は%、( )内は昨年度                              肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）                         </td> </tr> </table> <p>3年肯定 25+55 (15+58) やや否定 8(12) 否定 6(6)                      2年肯定 33+43 (25+47) やや否定 6(11) 否定 4(5)                      1年肯定 35+43 (33+39) やや否定 4(5) 否定 0(0)</p> <p><b>「分析 I」</b></p> <p>本校の教育課程の特殊性については、オープンスクール等の機会を通じ説明を十分に行い、本校の教育方針を保護者・中学生に十分に理解してもらった上で入学してもらうよう心がけた。また、少しずつではあるがホームページの充実にも努めたこともあり、肯定的な回答が多い。否定的な回答の割合は減少しているものの、行事や実習についての広報を保護者にさらにわかりやすく丁寧に行うよう努力したい。教職員のアンケートでは、ほぼ全員から肯定的な回答が得られた。ホームページを充実してほしいという回答も若干見受けられたので改善に努力したい。</p>	数値は%、( )内は昨年度 肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）	<p><b>「全般について」</b></p> <p>A氏より                      アンケートを実施する上では、高い回収率が望まれますが、今回、全体で80%台であっても、学年によっては60%台というのは課題であると考えます。アンケートが確実に保護者の手元にわたるよう配布方法を検討することが必要だと思います。</p> <p>B氏より                      3年生の保護者の評価が思わしくないことに加え、3年生保護者の回収率も低いので、数字以上に学校に対し好印象をもっていないのではと危惧される。少なくとも、Q10にある進路指導、情報提供など、教職員で取り組めるものを強化されてはどうでしょうか。</p> <p>C氏より                      入学後、間もない1年生の頃は保護者の関心も期待も高く、アンケート回収率も高いと思われます。3年になると熱心な保護者のみ回答されることも考えられ、厳しい評価になっていると想像できます。</p> <p>D氏より                      アンケート回収における担任の取り組み方に差がないような工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p><b>「特色や方針の明確化について」</b></p> <p>A氏より                      ホームページは、年々改善されており、全体的に満足しうるものになってきていると考えます。</p> <p>C氏より                      ホームページの充実が「肯定」評価につながっていると思います。</p> <p>D氏より                      藍野高校は職業高校として特殊性が高いため、どのような教育が行われているかなど、ホームページに対する期待は高いと思います。否定的な回答の方には具体的にどのような情報が欲しいのかをアンケートで聞くなどして試してみてもよいと思います。</p>
数値は%、( )内は昨年度 肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）		

学校評価アンケートの結果と分析 [平成30年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																								
<p><b>Ⅱ 危機管理や安全対策について</b></p> <p><b>Q2</b> 学校は危機管理や安全対策に努めていると思いますか? (生徒への危機管理教育・安全指導・学校全体のセキュリティについて)</p> <p style="text-align: right;">数値は%、( )内は昨年度</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定 11+47(12+44)</td> <td>やや否定 21(15)</td> <td>否定 8(5)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定 20+48(14+58)</td> <td>やや否定 16(10)</td> <td>否定 7(3)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定 33+33(31+41)</td> <td>やや否定 9(5)</td> <td>否定 1(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅱ」</p> <p>平成26年度に、生徒用個人ロッカーおよび監視カメラ5台の設置を行ったことで、一定の危機管理対策を推進することができた。また、全校朝礼時やHR活動等で、生徒に対して危機管理、安全についての講話を随時行っている。ただ、アンケート結果からは否定的な意見を持つ生徒・保護者がかなり存在していることが見受けられる。</p> <p>教職員のアンケートでは、耐震対策を含めた施設・設備面での充実に加えて、教職員の危機意識の欠如など、学校自体のセキュリティ一面での不備を指摘する意見や生徒への危機管理教育の必要性を指摘する意見があった。</p> <p>また、女子寮が併設されているため、寮における火災や地震の際の避難計画なども含めた安全対策についても併せて考えていく必要がある。</p> <p><b>Ⅲ 教職員の対応</b></p> <p><b>Q3</b> 学校に電話をかけられたとき、あるいは来校されたときに、教職員の対応は適切であると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、( )内は昨年度</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定 45+36(54+31)</td> <td>やや否定 9(10)</td> <td>否定 2(2)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定 53+43(60+32)</td> <td>やや否定 0(3)</td> <td>否定 0(3)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定 63+25(57+34)</td> <td>やや否定 7(0)</td> <td>否定 2(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅲ」</p> <p>保護者アンケートでの教職員の対応については、肯定的な意見が大半を占め、例年評価が高い。教職員の対応については、生徒や保護者からは一定の評価がなされていると考えられる。教職員のアンケートでは、全員が肯定的な回答をしており、否定的な回答はなかった。</p> <p>今後も、生徒や保護者の気持ちや立場を考慮しながら、対応に努めていきたい。</p>	3年	肯定 11+47(12+44)	やや否定 21(15)	否定 8(5)	2年	肯定 20+48(14+58)	やや否定 16(10)	否定 7(3)	1年	肯定 33+33(31+41)	やや否定 9(5)	否定 1(0)	3年	肯定 45+36(54+31)	やや否定 9(10)	否定 2(2)	2年	肯定 53+43(60+32)	やや否定 0(3)	否定 0(3)	1年	肯定 63+25(57+34)	やや否定 7(0)	否定 2(0)	<p><b>「危機管理や安全対策について」</b></p> <p>A氏より</p> <p>セキュリティー面については、年々改善されていると感じます。ただ、施設・設備面では老朽化が進み、耐震面や学ぶ環境としては不安が残ります。このアンケート結果をふまえ、早急に改善していく必要があると考えます。</p> <p>B氏より</p> <p>危機管理、安全対策で保護者が気がかりに感じているのは具体的にどういう点なのかを明確にすべきです。施設面でのセキュリティーに問題があるのは事実と思われるので、何を、どのような計画で改善（改修）するのかについて、法人と協議を重ねることが必要でしょう。</p> <p>C氏より</p> <p>校内の監視カメラや警備員の巡回など、防犯の面での危機管理は進んだと思いますが、学校施設の耐震など災害への危機管理が急務だと考えます。</p> <p><b>「教職員の対応について」</b></p> <p>A氏より</p> <p>教職員の方の対応はアンケート結果の通り評価できると考えます。安心できる対応を今後も期待しております。</p> <p>C氏より</p> <p>教職員の対応は細やかで丁寧だと思います。</p> <p>D氏より</p> <p>教職員の方々の対応は毎回感心するほど丁寧で、子供たちを安心してまかせる事ができています。否定的な意見の方には、どのような点で問題があるのか、具体的に教えていただくのも必要かと思えます。</p>
3年	肯定 11+47(12+44)	やや否定 21(15)	否定 8(5)																						
2年	肯定 20+48(14+58)	やや否定 16(10)	否定 7(3)																						
1年	肯定 33+33(31+41)	やや否定 9(5)	否定 1(0)																						
3年	肯定 45+36(54+31)	やや否定 9(10)	否定 2(2)																						
2年	肯定 53+43(60+32)	やや否定 0(3)	否定 0(3)																						
1年	肯定 63+25(57+34)	やや否定 7(0)	否定 2(0)																						



学校評価アンケートの結果と分析 [平成 30 年 6 月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>IV 施設・設備等の教育環境の充実について</b></p> <p><b>Q4</b> 学校は、施設・設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか?      数値は %、( )内は昨年度</p> <p>3 年 肯定 9+53(5+29) やや否定 20(29) 否定 9(25)</p> <p>2 年 肯定 16+46(22+48) やや否定 19(22) 否定 11(3)</p> <p>1 年 肯定 31+39(30+39) やや否定 16(14) 否定 5(3)</p> <p>「分析 IV」</p> <p>アンケート項目中、否定的な意見の割合が最も多い項目である。平成 28 年度から全学年 3 学級編成となったため、校舎内において自由に使用できる予備教室が無く、施設・設備の不十分さは際立ってきている。法人本部の協力も得て、トイレ設備は改善されてきてはいるが、女子トイレ個室数の増加までには至っていない。校舎・設備の老朽化と狭隘感は否めないが、予算等の関係もあるため長期計画で取り組みたい。看護実習室については、新規備品を今後そろえる計画もあり、実習施設の充実については保護者にも一定の評価がなされているのではないかと考える。</p> <p><b>V 保護者との連携や情報発信について</b></p> <p><b>Q5</b> 学校は、保護者との連携や情報発信に努めていると思いますか?      数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3 年 肯定 17+49(18+49) やや否定 25(16) 否定 2(9)</p> <p>2 年 肯定 28+53(23+51) やや否定 16(18) 否定 1(3)</p> <p>1 年 肯定 27+46(32+34) やや否定 10(14) 否定 4(7)</p> <p>「分析 V」</p> <p>平成 28 年度から緊急時連絡用にフェアキャスト（学校連絡網サービス）を導入した。フェアキャスト導入以前は、台風の影響や電車運休による休校の連絡を電話で教員が手分けして行っていたが、導入により保護者・生徒への必要な連絡を短時間で確実にできるようになった。教職員のアンケートでは約 8 割が肯定的な意見であったが、行事やクラブ活動の少ない本校においては、ホームページへのトピックス掲載を多くすること自体が困難な状況にある。学年通信や学級通信の発行回数を増やすなど、情報発信の機会を増やし、少しでも保護者との連携を深めることができよう努力したい。</p>	<p>「施設・設備等の教育環境の充実について」</p> <p>A 氏より</p> <p>アンケート結果・分析にもあるように、まだまだ課題は多いと思います。さらに、平成 30 年度入学生数が例年の 1.5 倍とのことで、この状況で実習施設の確保ができていないのか、整っているのか不安が残ります。学校の設備のみでなく、実習環境についても評価をしていく必要があると考えます。</p> <p>B 氏より</p> <p>学校側も最も苦慮されていることと思うので、特に良案はありません。リフレッシュ棟の建て替えにより必要な教室数を補充されることを期待します。</p> <p>C 氏より</p> <p>生徒数が増えているにもかかわらず、トイレの数は以前のままであり、予算等いかんともしがたい理由はあるかと思いますが、授業時間内にトイレに立つ生徒もよく見かけられるので、教育上の観点からもトイレ増設が望まれます。</p> <p>「保護者との連携や情報発信について」</p> <p>A 氏より</p> <p>小・中学生とは違い、対象が高校生であるため、情報発信は現状で十分だと考えます。否定的な意見の内容を知りたいです。</p> <p>C 氏より</p> <p>昨今の異常気象の中、フェアキャスト導入は生徒・保護者にとって大いに助かり、安心につながっていると思います。</p> <p>D 氏より</p> <p>保護者がどのような情報を求めているかについて十分な分析ができていのでしょうか。学校からの働きかけが一方通行にならないように注意する必要があると思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [平成30年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																				
<p><b>VI 授業の工夫について</b></p> <p><b>Q6 授業の内容や指導方法に、工夫がされていると思いますか?</b> 数値は%、( )内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年 肯定</td> <td>10+56(14+43)</td> <td>やや否定</td> <td>10(10)</td> <td>否定</td> <td>6(12)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定</td> <td>27+39(17+47)</td> <td>やや否定</td> <td>10(11)</td> <td>否定</td> <td>2(3)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定</td> <td>35+37(27+29)</td> <td>やや否定</td> <td>5(3)</td> <td>否定</td> <td>0(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 VI」</p> <p>前年度と比較して各学年とも肯定的な回答の割合が高くなっている。教職員のアンケートでは、全員が授業内容や教材、指導方法に工夫をしていると回答していたが、約半数は組織的な取り組みが出来ていないと回答していた。</p> <p>マークシート形式の授業アンケートを、全授業を対象に1学期終了後実施し、その結果を各教員にフィードバックすることで2学期以降の授業改善の参考としてもらった。教育課程が密で、一般教科での授業研修を目指した授業公開の機会を持つのが難しい状況ではあるが、教員のスキルアップを目的とした何らかの取り組みを今後は考えていく必要がある。夏期休暇中の教育課程研究会には毎年全教科参加しているが、教科毎に行われている研修会などに積極的に参加することで、授業内容や指導方法の改善を図っていきたい。</p> <p><b>VII 生徒の悩みや問題について</b></p> <p><b>Q7. 学校は生徒の悩みや問題に対して適切に対応できていると思いますか?</b> 数値は%、( )内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年 肯定</td> <td>25+40(26+30)</td> <td>やや否定</td> <td>6(18)</td> <td>否定</td> <td>8(10)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定</td> <td>33+33(29+44)</td> <td>やや否定</td> <td>14(11)</td> <td>否定</td> <td>5(3)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定</td> <td>30+26(29+29)</td> <td>やや否定</td> <td>6(8)</td> <td>否定</td> <td>1(2)</td> </tr> </table> <p>「分析 VII」</p> <p>教職員のアンケートでは8割が肯定的な回答をしている。保護者アンケートでは否定的な意見が1割程度みられるが、6~7割の保護者が肯定的な回答をしている。本校の教職員の大半は日頃から生徒の体調や出席状況の把握に努め、小まめな声掛けや面談も積極的に行い、保護者との連絡も密にとるよう心がけている。週に1度スクールカウンセラーとの面談を可能にしてあるが、相談件数が年を追って減少してきていることも、全体として生徒の人間関係が穏やかになりつつあることを示していると考えられる。</p>	3年 肯定	10+56(14+43)	やや否定	10(10)	否定	6(12)	2年 肯定	27+39(17+47)	やや否定	10(11)	否定	2(3)	1年 肯定	35+37(27+29)	やや否定	5(3)	否定	0(1)	3年 肯定	25+40(26+30)	やや否定	6(18)	否定	8(10)	2年 肯定	33+33(29+44)	やや否定	14(11)	否定	5(3)	1年 肯定	30+26(29+29)	やや否定	6(8)	否定	1(2)	<p><b>「授業の工夫について」</b></p> <p>A氏より</p> <p>授業の工夫は本当に難しいと思いますが、研修会への参加など、先生方も年々努力を重ねられているのが理解できます。1年生の評価が高い所からもそうとらえることができます。</p> <p>B氏より</p> <p>授業アンケート結果を各教員にフィードバックしているとありますが、その評価（生徒に評価されているのか、いないのか、改善すべき点）はされているのでしょうか。専任教員数が多くないので、客観的な評価が困難という問題はありますが、長所と短所を何らかの形で伝えるようにしないと、結局同じようなアンケート結果を繰り返すだけになってしまうと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>教職員アンケートから組織的な指導方法への評価が低いことがうかがえ、個々の努力がパーンアウトにつながらないよう組織的な取り組み改革が切望されます。</p> <p>D氏より</p> <p>高校の先生方が高いレベルの看護教育をされているということが臨地実習の際の実習生のカンファレンスでの発言や看護記録から伝わってきました。</p> <p><b>「生徒の悩みや問題について」</b></p> <p>A氏より</p> <p>専門性が高く、社会性を身につけることも求められる高校生活において、悩みが多くなるのは当然のことだと思います。先生方は十分な対応をいただいていると感じます。</p> <p>B氏より</p> <p>限られた人員でよく努力されていると思います。</p> <p>C氏より</p> <p>藍野高校の先生方はクラス・学年の枠を超えて生徒の話を聴いてくださっていると思います。</p>
3年 肯定	10+56(14+43)	やや否定	10(10)	否定	6(12)																																
2年 肯定	27+39(17+47)	やや否定	10(11)	否定	2(3)																																
1年 肯定	35+37(27+29)	やや否定	5(3)	否定	0(1)																																
3年 肯定	25+40(26+30)	やや否定	6(18)	否定	8(10)																																
2年 肯定	33+33(29+44)	やや否定	14(11)	否定	5(3)																																
1年 肯定	30+26(29+29)	やや否定	6(8)	否定	1(2)																																

学校評価アンケートの結果と分析 [平成30年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																										
<p><b>VIII 高校生の服装やマナー等について</b></p> <p><b>Q8. 藍野高等学校生の礼儀や挨拶ならびに頭髪・服装等身だしなみはきちんとしていると思いますか?</b></p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>14+53(23+44)</td> <td>やや否定</td> <td>19(13)</td> <td>否定</td> <td>6(8)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>32+49(38+54)</td> <td>やや否定</td> <td>10(3)</td> <td>否定</td> <td>3(0)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>37+49(46+37)</td> <td>やや否定</td> <td>1(4)</td> <td>否定</td> <td>1(4)</td> </tr> </table> <p>「分析 VIII」</p> <p>1・2年生では8～9割の保護者が肯定的に捉えている。3年生では肯定的な意見の保護者の割合は1・2年生と比較すると低く、学年があがるにつれて気の緩みによる服装の乱れなどが目立つ傾向が認められる。また、教職員では肯定的な意見が約7割、否定的な意見が約2割を占めている。服装やマナー等に関する指導は生活指導部が中心になり全教職員で行ってはいるが、学年や教員によって指導内容に差が出てしまい、それが生徒の不満にも結びつくという状況が指導を困難にもしている。生徒を対象としたアンケート等では、学校の厳しい指導に対する不満が記入されているが、将来の医療従事者である自覚を促し、教職員が足並みをそろえて粘り強く指導していく必要がある。</p> <p><b>IX 清掃や整理整頓について</b></p> <p><b>Q9 学校は清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか?</b></p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>24+60(30+46)</td> <td>やや否定</td> <td>4(12)</td> <td>否定</td> <td>6(3)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>35+53(45+46)</td> <td>やや否定</td> <td>5(0)</td> <td>否定</td> <td>0(1)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>45+33(46+37)</td> <td>やや否定</td> <td>2(1)</td> <td>否定</td> <td>0(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 IX」</p> <p>例年と同様、放課後に1年生が全員清掃で教室以外の全区域の清掃を行った。保護者アンケートの結果では、各学年とも8～9割の保護者が肯定的な回答をしている。また、教職員も約7割が肯定的な回答をしており、清掃・美化に対する学校での取り組みが成果を上げているものと考えられる。ただ、体育館などの特定の箇所の汚れを指摘する意見もあるため、次年度については、清掃箇所の見直しも計画したい。</p>	3年	肯定	14+53(23+44)	やや否定	19(13)	否定	6(8)	2年	肯定	32+49(38+54)	やや否定	10(3)	否定	3(0)	1年	肯定	37+49(46+37)	やや否定	1(4)	否定	1(4)	3年	肯定	24+60(30+46)	やや否定	4(12)	否定	6(3)	2年	肯定	35+53(45+46)	やや否定	5(0)	否定	0(1)	1年	肯定	45+33(46+37)	やや否定	2(1)	否定	0(1)	<p>「高校生の服装やマナーについて」</p> <p>A氏より</p> <p>3年生の評価が低いのは、最高学年によるもので、気のゆるみが身だしなみに出ていると思います。先生方にはこれまで通り、医療従事者を育てるという意識で指導していただければと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>3年生の保護者で肯定的意見が減るのは、3年生の気の緩みをよく見てくださっているからだと思います。実習での厳しい指導にも対応できる生徒達なので、先生方の指導を待っていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>一般的な高校生と比べて服装もマナーも良いように感じますが、学校で先生方に接している姿を見ると、もう少し立場をわきまえた態度が必要かなと感じます。学校側の厳しい指導は、これから目指す医療人としての自覚付けには必要だと思います。</p> <p>「清掃や整理整頓について」</p> <p>A氏より</p> <p>清掃・美化活動においては、十分な努力をされていると感じます。生徒の育成のためにも「自分たちで環境を整える(きれいにする)」という全員清掃は続けていただき、意識づけにつなげていただきたいと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>土足で入る学校ですが、廊下等きれいにされていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>校舎内・校舎周りはいつも整理・整頓され、きれいな環境で生活できているように思います。生徒達も満足しているのではないのでしょうか。</p>
3年	肯定	14+53(23+44)	やや否定	19(13)	否定	6(8)																																					
2年	肯定	32+49(38+54)	やや否定	10(3)	否定	3(0)																																					
1年	肯定	37+49(46+37)	やや否定	1(4)	否定	1(4)																																					
3年	肯定	24+60(30+46)	やや否定	4(12)	否定	6(3)																																					
2年	肯定	35+53(45+46)	やや否定	5(0)	否定	0(1)																																					
1年	肯定	45+33(46+37)	やや否定	2(1)	否定	0(1)																																					

学校評価アンケートの結果と分析 [平成30年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>X 進路に関する指導について</b></p> <p><b>Q10 進路に関する指導や面接、情報提供等が十分に行われていると思いますか?</b>                      数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 14+42(15+37) やや否定 23(20) 否定 6(10)</p> <p>2年 肯定 19+34(19+42) やあ否定 19(13) 否定 2(3)</p> <p>1年 肯定 20+29(23+22) やや否定 5(1) 否定 0(5)</p> <p>「分析 X」</p> <p>1年生の保護者の大半は生徒の短期大学部進学を意識して高校に入学しているため、卒業後の進路に対する関心は他学年と比較すると低い。25年度卒業生(5期生)までは本校卒業生は全員短期大学部に進学していたが、26年度卒業生以降は専門学校、4年制大学など短期大学部以外への進学も目立つようになった(6期生:9名、7期生:14名、8期生:7名、9期生:11名)。そのため、短期大学部以外の他の進路についても積極的に情報を求めることが必要とされてきている。教員の約8割は肯定的な回答をしているが、これはキャリアガイダンス(卒業生講話)や高大連携の短期大学部の出前授業など、生徒を対象とした進路関係の学校行事を計画的に企画・実施するようになったことも理由の1つと考えられる。</p>	<p>「進路に関する指導について」</p> <p>A氏より</p> <p>進路については、3年生になってからの個人的な相談になってくるので、その部分では生徒のみでなく、保護者にも詳しく説明を重ねていくことが必要だと考えます。進路についてのアンケート(学校側の対応についてなど)は、卒業時に実施すると明確な結果が出ると思うので、調査時期の検討も必要かと思います。</p> <p>B氏より</p> <p>進路多様化にあわせ進路指導、情報提供については一層の努力をお願いしたい。短期大学部の長所を短期大学部教職員からしっかり伝えてもらうとともに、進路選択による経済面のことについても保護者にわかりやすく伝えてもらいたい。</p> <p>C氏より</p> <p>短期大学部の魅力と共に藍野病院の魅力も伝えることで、将来の目標が定まる気がします。</p>
<p><b>XI 学校行事等について</b></p> <p><b>Q11 生徒は学校行事や生徒会行事に満足していますか?</b>                      %で表示 ( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 17+51(6+43) 余り 15(28) 否定 6(20)</p> <p>2年 肯定 15+51(11+46) 余り 15(22) 否定 9(6)</p> <p>1年 肯定 23+51(19+46) 余り 9(14) 否定 5(2)</p> <p>「分析 XI」</p> <p>前年度と同様、アンケート項目中、「施設・設備面等の教育環境の充実」と並び保護者において否定的な回答が多い項目の1つであった。ただ、前年との比較ではいずれの学年においても肯定的な回答の割合が多くなっている。平成29年度は高校単独で実施していた文化祭を取りやめて、大学・短期大学部が主催するあいの祭に参加し、模擬店などの取り組みを各学年・クラスで行ったことが生徒の満足度を高めたと考えることができる。</p> <p>職業高校の現実として授業時間数の制約もあり、全学年をあげて学校行事に取り組める時間数は制限される。そのため、生徒会が中心となり生徒が満足できる学校行事等の運営を行うことができるよう、教職員も積極的に関わっていく必要がある。</p>	<p>「学校行事等について」</p> <p>A氏より</p> <p>先生方の保護者・生徒の要望にこたえようと工夫された結果がこの評価につながっていると思います。臨地実習等による時間的制約が厳しい中、十分な配慮をいただいていると感じ、ありがたく思います。</p> <p>C氏より</p> <p>実習等のため、時間割が普通科の高校と異なるので学校行事にも工夫が必要だと思います。先生方はどの行事にも熱心に対応され、生徒達は行事自体を楽しめなくても先生方への信頼は向上しているようです。</p> <p>D氏より</p> <p>高校卒業・准看護師免許取得という2つのカリキュラムを3年間でこなすという厳しい現状が生徒や保護者にうまく伝わっていないのではないかと感じます。</p>